

番号	16	塘堤記念碑		
所在地	佐賀市久保田町徳万 1 1 8			
災害別	昭和 3 8 年（ 1 9 6 3 ） 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和 1 1 年 2 月	
特記事項	昭和 1 1 年建立の碑に昭和 3 8 年の災害復旧の記載がある。			



以前調査した碑が移設された例をたまに見かけることがある。この塘堤記念碑もその一例で、以前調査した時は嘉瀬川の堤防上に建てられていた。平成 3 0 年に禅門樋管が、令和元年に水取樋管が改築され、併せて堤防が改修されたことにより、現在のように他の石碑などと一緒に堤防下の一角に移転されたものと思われる。また、併せて解説板も据えられている。元の場所には、向きを変えて馬頭観音が残されている。

この塘堤記念碑は明治時代ごろまでに構築されていた「斜め堰」が昭和 1 1 年（1 9 3 6）にコンクリート堰（徳万堰）に改築された際にそれを記念して建てられたもので、碑の裏面には、昭和十一年二月之竣工 七十八口 古賀文一郎書と記されており、また、台座正面には「昭和 1 0 年 5 月起工 昭和 1 1 年 2 月竣工 村長 高森豊吉（以下村会議員等氏名略）」とあるが、その右側面に「昭和 3 8 年 6 月 3 0 日災害による復旧工事 昭和 3 8 年 1 2 月起工 昭和 3 9 年 5 月竣工 村長 村田隆長」と追記されている。

昭和38年6月30日の集中豪雨により、嘉瀬川流域では、死者13名、家屋の流失・全半壊115戸、床上浸水69戸、床下浸水1,205戸の被害が出たという。この時の復旧工事について碑に追記したものだと思われる。なお、昭和38年6月30日の災害復旧記念碑は他に佐賀市立小中一貫校三瀬校運動場の奥にも建てられている（別項）。



昭和38年の災害を記した側面の追記



移設前



移設後



国土地理院電子国土 Web



水取樋管